



かがやき

5月号 NO.2

令和7年5月2日



あいさつからはじめよう

校長 吉澤 充

新しい年度が始まって1か月が過ぎました。入学した1年生、そして進級した2年生から6年生のどの学年の児童も、4月8日の気持ちのままで、毎日前向きに頑張っている生活しています。

私は、入学式・始業式で児童に3つの約束の話をしました。その1つに「元気な返事とあいさつをしましょう」があります。この1ヶ月、登下校時や廊下でのあいさつの様子を見てきましたが、本校の児童は、約束を意識して学校内外で良くあいさつをしてくれます。



例えば、登校時には班長さんが地域の方や旗当番の保護者の方に、進んで「おはようございます」とあいさつをしています。そうすると班員の下級生も元気なあいさつをしてくれます。また、校舎内での教室から特別教室へ移動する時には「こんにちは」と気持ちの良いあいさつをしてくれます。来校されたお客様に対しても、礼儀正しくあいさつをすることができています。不思議とあいさつの後に「おはようございます(今日も勉強運動がんばります)」「こんにちは(さっきの授業もがんばりました。次の授業も頑張ります)(ようこそ南小へお越しくださいました)」という心の声まで聞こえてきます。そのくらい素敵なあいさつをする児童がたくさんいます。



さて、そもそも「あいさつ(挨拶)」とは、何なのでしょう。挨拶の起源は、諸説あるそうですが、その一つとして、禅宗の師匠と弟子との問答によって悟りの深さを試す「一挨一拶(いちあい いっさつ)」ではないかと言われています。「挨」という漢字には「相手に近づく、心を開く」という意味があり、「拶」には、「相手に迫る、心に近づく」という意味があるそうです。そのため、挨拶を交わすことで相手との関係性を円滑に、安心感を与える効果があるといわれています。

また、アメリカの保険会社が、朝「行ってきます。」「気をつけてね。」と家族とコミュニケーションをとる人の方が、交通事故に遭う確率が低くなるとの調査を発表したことがあります。(データを見つけられませんでした)学校の職員室でも、積極的なあいさつを心がけています。出張の時には「行ってきます。」「行ってらっしゃい。気をつけて。」戻ってきた時には「ただいま戻りました。」「お帰りなさい。お疲れさまでした。」と声をかけています。このようなあいさつが、交通事故の防止や教職員同士の円滑な人間関係と安心感につながると考えています。そして、それは、児童への効果的な教育へもつながるものと信じています。ご家庭でもぜひ、「おはよう」「おやすみなさい」「いただきます」「ごちそうさま」等、日常の中で交わされるあいさつを親子のコミュニケーションのきっかけとしてみてはいかがでしょうか。

体育朝会の実施

4月16日に校庭で全校児童が集まり「体育朝会」を開催しました。整列の仕方や話を聞く時の姿勢について学びました。授業中だけではなく、何かの災害の時にも、この朝会で学んだことを活かしてほしいです。



いじめ対策プログラムを活用した授業の実施

4月17日(木)18日(金)21日(月)の3日間、4年生で「いじめ」についての授業を養護教諭とともに実施しました。いじめは、「決して許さない」ということを学習するだけではなく、いじめを見たら「いじめられている子を助ける行動をとる」ということについても学習しました。



いじめは、どの学級でも、どの児童にも起こるものである。という意識を常に持ちながら、日々の教育活動を通じて、児童の観察に努めています。しかし、いじめは、大人の見えていないところで発生していることが多いです。保護者の皆様も、お子様の様子で気になることがありましたら、ぜひご連絡ください。



1年生を迎える会の実施

4月23日に「1年生を迎える会」を開催しました。2年生から6年生までの在校生が、61名の1年生にメッセージを贈るとともに、それぞれの学年が、学年の帽子の色を紹介しました。最後に、6年生が、本校の校歌の歌詞をプレゼントしました。校歌を早く覚えてみんなで歌えるといいですね。



初めての給食・委員会活動の実施

4月16日から1年生でも小学校の給食が始まりました。食器の大きさと重さに戸惑いながらも、初めての給食で配膳の仕方や片付けの仕方を学んでいます。



23日には、今年度の最初の委員会活動が行われました。5年生にとっては、初めての委員会でしたが、副委員長に立候補する児童もいて学校のために責任をもって活動しようという姿勢が見られました。



不審者の侵入を想定した避難訓練の実施

4月25日に「不審者対応避難訓練」を実施しました。不審者の侵入を知らせる放送を聞くと、各学級では事前学習を活かして身を守る行動をとることができていました。



5月6月は交通事故が多い

警視庁から4月に令和6年度の「自転車の交通人身事故件数」が発表されました。それによると過去10年間で、昨年度が2番目に多く発生していたことが分かりました。(ちなみに一昨年度が1番多く交通事故が発生しています)また、月別に見てみると12月に次いで、5月6月の発生件数が多いことも報告されています。事故の類型別では、9分類の中で「出会頭」(報告書の標記を引用)が最も多くなっています。「出会頭」(であいがしら)の事故とは、交差点で「一時停止の無視」や「左右の確認不十分」等によって発生した事故のことです。

5月6月のこの時期、新しい学年・学級の生活に慣れ、新しい友達も増え、行動範囲も広がってくる頃です。そして、進級を機に遊びや移動で自転車を利用する児童も増えてくる時期でもあります。改めて、ご家庭で一時停止を含めた交通ルールの確認とヘルメットの着用を含めた自転車に乗る時のルールの確認をよろしくお願いいたします。